

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700669
事業所名	グループホームオレンジ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「地域医療と福祉の拠点」を担い、地域の方々との計画や準備を共にし交流を深めてきた「オレンジふれあい夏祭り」には、今年も大勢の地域の老若男女が参加し盛大な祭りが行われ、地域になくてはならない大イベントとなっている。冬には回想法を取り入れた「オレンジ昭和村」を開催し、昔懐かしい風情を楽しんだり知人との旧交を懐かしんだり、餅つき大会をしたりして地域と長い付き合いを継続している。保育園児との交流、地区や町の祭礼、産業祭り、運動会などの参加、文化祭への作品出展、様々なボランティアとの交流などを通して、地域に根差し地域の一員として日常的なつながりを大切にしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、町内会長や民生委員、老人会長や地域の有識者、役所職員の参加を得て、2か月毎に年6回開催をしている。日頃の様子や行事をスライドで報告したり、防災や感染症などについての取組状況を報告したり、対策や予防などについて協議をして運営に反映するようにしている。家族の参加が多いので活発な話し合いがされ、参加者からの要望や意見は職員で共有し運営やサービスに活かすように努めている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 日頃は電話やメールで担当者と挨拶を交わしたり、情報交換をし密接に連携を図るようにしている。更新手続きや報告などで役場へ訪れた折には、話し合いや相談、情報交換などをして協力関係を深めるようにしている。町主催の地域ケア会議に出席し、意見交換や情報交換をして協力関係を築くようにしている。また、文化祭や産業祭などに積極的に参加し、役場との協同関係を保つようにしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日ごろの生活の中で意見や要望を聞き、ケアに反映させるようにしている。家族からは面会や行事、運営推進会議の折に必ず声をかけ、現状報告をしたり意見や要望を聞くようにしている。意見箱を常設し、意見を出しやすい環境を整えている。年4回「オレンジ通信」を発刊し、家族に情報提供と共に安心感を届けている。入居者からは食事や外出について、家族からは職員の対応についてのアンケート調査を行い、結果の公表と共に業務改善やサービス向上、満足度の向上に繋げるようにしている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	